

人間発達文化学類履修基準表

	領域区分	科目区分	開設科目等	セメスター	単位	卒業要件単位数		
						必修	選択必修	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	2		
			社会とデータ科学の基礎	1	2	2		
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2	2		
			健康運動科学実習	1	1	1		
		外国語コミュニケーション科目	英語A I・A II	1～	1	4		
	英語以外の外国語基礎 I・II		1～	1	2			
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	2	2	5	
			社会科学分野の科目	1～	2	2		
			自然科学分野の科目	1～	2	2		
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	2	2		
			ワーキングスキル	3～	1又は2			
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	1			
		外国語科目	英語B I・B II	3～	1	4		
			応用英語	1～	1			
			英語以外の外国語基礎（特設）I・II	1～	1			
			英語以外の外国語応用 I・II	3～	1			
	情報科目	情報リテラシー	1～	2				
	問題探究領域	問題探究科目		1～	2	2		
自主学修プログラム			1～	1又は2				
問題探究セミナー		問題探究セミナー I	2	2	2			
基盤教育小計						29	5	
専門教育	学類基礎領域	問題探究セミナー	問題探究セミナー II	3	2	2		
	学類専門領域	コース専門科目		1～	1又は2		34	
		学際・教養科目		1～	1～4		26	
	卒業研究領域	卒業研究科目	卒業研究基礎演習		6	1	1	
			卒業研究演習 I		7	1	1	
			卒業研究演習 II		8	1	1	
プレゼンテーション演習				8	1	1		
卒業論文				8	4	4		
専門教育小計						10	60	
自由選択	自由選択領域	基盤教育・専門教育の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目（単位）					20	
合計						39	85	
						124		

(注)

- 1, 接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。
- 2, 接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。
- 3, 教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位+英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。
- 4, 学際・教養科目は必修科目である問題探究セミナーII及び卒業研究科目を除くすべての学類開講科目から、所定の単位以上を選択履修する。
- 5, 要卒単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

行政政策学類履修基準表 (昼間)

領域区分		科目区分		履修 セメスター	分類 (※1)	科目単位	要卒単位 (※5)
基 盤 教 育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2
			社会とデータ科学の基礎	1	必修	2	2
		ライフマネジメント 科目	キャリア形成論	1	必修	2	2
			健康運動科学実習	1	必修	1	1
		外国語コミュニケー ション科目 (※3)	英語A I・A II	1~	必修	1	4
	英語以外の外国語基礎 I・II		1~	必修	1	2	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1~	選択必修・自由	2	2
			社会科学分野の科目	1~	選択必修・自由	2	2
			自然科学分野の科目	1~	選択必修・自由	2	2
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3~	選択必修・自由	2	2
			ワーキングスキル	3~	選択必修・自由	1または2	
		健康・運動科目	スポーツ実習	2~	選択必修・自由	1	5 (※2)
		外国語科目 (※3)	英語B I・B II	3~	選択必修・自由	1	
			応用英語	1~	選択必修・自由	1	
			英語以外の外国語基礎 (特設) I・II	1~	選択必修・自由	1	
			英語以外の外国語応用 I・II	3~	選択必修・自由	1	
	情報科目	情報リテラシー	1~	選択必修・自由	2	2	
	問題探究 領域	問題探究科目 (※4)	1~	選択必修・自由	2		
		自主学修プログラム	1~	選択必修・自由	1または2		
		問題探究セミナー	問題探究セミナー I	2	必修	2	
(小 計)							34
専 門 教 育	専門領域	学類専門科目	学類共通科目	1~	選択必修・自由	2	8
			学類基礎科目	3~	選択必修・自由	2	24
			コース専門科目	3~	選択必修・自由	2	24
		演習、卒業研究	問題探究セミナー II・III	3・4	必修	2	4
			演習 I~IV	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
(小 計)							72
自由 選択	自由選択 領域						18
総 計							124

(注) ※1. 「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

※2. 「教養領域」の学術基礎科目各分野2単位計6単位、キャリア設計科目2単位、外国語科目4単位、「問題探究領域」の問題探究科目2単位、計14単位を修得した上で、更に「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから5単位を修得する。

※3. 1接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

2接続領域「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上することができる。

3教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位 + 英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。

※4. 問題探究科目は、夜間主に開講される問題探究科目からも選択し受講できる場合がある。(行政政策学類学生のみ)

※5. 基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

経済経営学類生が卒業するためには

履修基準表

履修基準(2023年度以降の入学生)

領域区分	科目区分	開設科目等	履修開始 セメスター	1科目 単位数	分類 (注1-4)	要卒単位	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	必修	2
			社会とデータ科学の基礎	1	2		2
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2		2
			健康運動科学実習	1	1		1
		外国語コミュニケーション科目(注6、7)	英語 A I・A II	1	1		4
			英語以外の外国語基礎 I・II	1	1		2
	(小計)					13	
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1	2	必修	2
			社会科学分野の科目	1	2		2
			自然科学分野の科目	1	2		2
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	5	2	選必	2
			ワーキングスキル	3	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2	1	自由	
		外国語科目 (注6、8、9)	英語 B I・B II	3	1	必修	4
			応用英語	1	1		
			英語以外の外国語基礎(特設) I・II	1	1		
			英語以外の外国語応用 I・II	3	1		
	情報科目	情報リテラシー	1	2	選必		
	問題探究領域	問題探究科目		1	2	選必	2
		自主学修プログラム		1	1または2	自由	
		問題探究セミナー	問題探究セミナー I	2	2	必修	2
(小計)						21	
(合計)					34		
専門教育	専門領域	学類基礎科目	リテラシー A	1	2	必修	14
			リテラシー B	2	2	選必※	14
		問題探究科目	問題探究セミナー II	3	2	必修	2
		コース専門科目	コース専門科目群	1	2	選必	32
			専門演習	4~6	2	選必※	6
			AL科目群 (注10)	3	2		
			卒業研究演習 I	7	2		
			卒業研究演習 II	8	2	必修	2
			特殊講義	1	2	自由	
		卒業研究	卒業研究	8	4	必修	4
(合計)					74		
自由選択	自由選択科目		1	1または2		16	
全体	(総計)					124	

(注)

- 「選必」は同じ科目区分内で選択必修として、「自由」は自由選択科目として要卒単位の計上できます。
- 「必修」は、必修の要卒単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できます。
- 「選必」は、同じ科目区分内で選択必修の要卒単位を超えて修得したものを自由選択に計上できます。
- 「選必※」は、選択必修の要卒単位を超えて修得したものをコース専門科目として計上できます。
なお、コース専門の要卒単位を満たしている場合は、自由選択に計上できます。
- 教養領域と問題探究領域科目については、各区分の要卒単位を満たした上、更に5単位を履修する必要があります。
なお、要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。
- 接続領域及び教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する必要があります。
- 接続領域の「英語以外の外国語」で要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。
- 教養領域の外国語科目必修4単位の修得方法は、「英語4単位」「英語以外の外国語4単位」「英語2単位+英語以外の外国語2単位」のいずれか
- 編入学生(日本国籍を有しない者)の「英語以外の外国語」に関して、日本語の履修を認めることがあります。
- AL(アクティブラーニング)科目とは、「卒研のための統計分析」「コープ演習」「海外調査」
グローバル演習(I「WEA I・II」「JSP I・II・III」)「ドイツ語実践演習 I・II」「ロシア語実践演習 I・II」「特別演習」を指します。

○福島大学共生システム理工学類規程（抜粋）

別表 1

共生システム理工学類 履修基準表

領域区分	科目区分	開設科目等	履修年次	セメスター	1科目単位数	卒業要件		
						必修	選択	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	1	
	外国語コミュニケーション科目	英語A I・A II	1~1	1~	1	4		
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科目	1~1	1~	2	2	7
			社会科学分野の科目	1~1	1~	2	2	
			自然科学分野の科目	1~1	1~	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2~3	3~	2	2	
			ワーキングスキル	2~3	3~	1又は2		
健康・運動科目		スポーツ実習	1~2	2~	1			
外国語科目		英語B I・B II	2~3	3~	1	4		
		応用英語	1~1	1~	1			
		英語以外の外国語基礎 I・II	1~1	1~	1			
		英語以外の外国語基礎（特設） I・II	1~1	1~	1			
		英語以外の外国語応用 I・II	2~3	3~	1			
情報科目		情報リテラシー	1~1	1~	2			
問題探究領域		問題探究科目		1~1	1~	2	2	
	自主学修プログラム		1~1	1~	1又は			

					は2			
		問題探究セミナー	問題探究セミナーI	1	2	2	2	
	小計						34	
専 門 教 育	学類共通	学類共通科目		1	1、2	2	4	
	領域	学類基礎科目	学類基礎科目A	1	1、2	2	8	
			学類基礎科目B	1	1	2	4	
			学類基礎科目C	1	2	2	4	
		学類専門科目	共生の科学Ⅲ	3	5	2	2	
	コース領 域	コース基礎科目（必修）		2	3	2	16	
		コース専門科目（選択必修）（注1）		2	3	2	24	
		コース実践科目	問題探究セミナーIIを含む （注2）	2	3	1又 は2	6 4	
	演習	演習	演習Ⅰ・演習Ⅱ	3、 4	6、	7、	2 4	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	4	7、	8、	2 4	
	小計						80	
自 由 選 択	自由選択領域（注3）						10	
全 体	総計						124	

※ 「選必」とは選択必修を示す。

※ 教養領域の「英語以外の外国語」は同一言語で修得する。

※ 教養領域の外国語科目必修4単位の履修方法は、「英語4単位」、「英語以外の外国語4単位」、「英語2単位+英語以外の外国語2単位」のいずれかとする。

※ 卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

（注1） 各コースで示されたコース専門科目（選択必修）のうち、指定の科目群からは12単位以上取得しなければならない。

(注2) 問題探究セミナーⅡは、4セメスターにて各コースのコース実践科目（必修）の科目として開講される。

(注3) 学類共通領域において卒業要件を超過して修得した単位、配属されているコースのコース領域の各科目区分において選択必修の卒業要件を超過して修得した単位及び配属されているコース以外のコースのコース領域科目の各科目区分において修得した単位は、自由選択に計上することができる。

○福島大学食農学類規程（抜粋）

別表1（第7条第1項、第20条第1号）

食農学類履修基準表

	領域区分	科目区分		セメス ター	1科目単位 数	要卒単位数		
						必修	選択必修	
基盤 教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセ ミナー	1	2	2		
			社会とデータ科学 の基礎	1	2	2		
		ライフマネジメント 科目	キャリア形成論	1	2	2		
			健康運動科学実習	1	1	1		
	外国語コミュニケー ション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1	4			
	教養領域	学術基礎科目	人文科学分野の科 目	1～	2	2		7(注1)
			社会科学分野の科 目	1～	2	2		
			自然科学分野の科 目	1～	2	2		
		キャリア設計科目	キャリアモデル学 習	3～	2	2		
			ワーキングスキル	3～	1または2			
健康・運動科目		スポーツ実習	2～	1				
外国語科目（注3）		英語BⅠ・BⅡ	3～	1	4			
		応用英語	1～	1				
		英語以外の外国語 基礎Ⅰ・Ⅱ（注2）	1～	1				
		英語以外の外国語 基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～	1				

			(注2)					
			英語以外の外国語 応用 I・II (注2)	3～	1			
		情報科目	情報リテラシー	1～	2			
問題探究領域	問題探究科目			1～	2	2		
	自主学修プログラム			1～	1または2			
	問題探究セミナー	農場基礎実習 II		2	2	2		
小計						34		
専門教育	専門領域	学類共通専門基礎科目	数理リテラシー	1～		4	4	7
			農学リテラシー	1～		14	14	(
		学類共通専門科目		4～		4		注
		コース専門科目		4～		28		4)
		(食品科学・農業生産学コース)				(4)	(24))
		(生産環境学・農業経営学コース)				(8)	(20))
	卒業研究科目		6～		9			
小計						84		
自由選択領域	自由選択科目 (注5)					6		
計						124		

(注1) 「教養領域」の学術基礎科目各分野2単位計6単位、キャリアモデル学習2単位、外国語科目4単位、「問題探究領域」の問題探究科目2単位、計14単位を修得した上で、さらに、「教養領域」の全科目及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから7単位修得する。

(注2) 「教養領域」の英語以外の外国語は、同一言語で修得する。

(注3) 「教養領域」の外国語科目必修4単位の修得方法は、英語4単位、英語以外の外国語4単位、英語2単位+英語以外の外国語2単位のいずれかとする。

(注4) 7単位については、所属するコース以外のコース専門科目を含めることができる。

(注5) 要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に含めることができる。

【人間】履修基準表 (修正後)

地域デザイン科学研究科人間文化専攻

科目区分	学際性重視型	専門性重視型	人間発達心理コース (臨床心理領域)
大学院基盤科目	2	2	2
専攻基盤科目	2	—	×
専門科目	24	22	26
イノベーション・コア	2	—	×
プロジェクト研究	6	—	×
自専攻科目	4	14	18
他専攻科目	4	—	—
特別演習	4	4	4
特別研究	4	4	4
自由選択科目*	2	6	2
合計必要単位数	30	30	30

*

自由選択科目は、専攻基盤科目、専門科目の選択科目から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。(上記の表中で「—」の表記としている科目の単位を修得した場合は、自由選択科目の単位として計上することができる。また、上記の表中に示した必要単位を超えて余分に単位を修得した場合も、自由選択科目の単位として計上することができる。)
ただし、人間発達心理コース(臨床心理領域)の自由選択科目については、専門科目の選択科目(「イノベーション・コア」及び「プロジェクト研究」を除く。)から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。(上記の表中で「×」の表記としている科目の単位を修得しても、自由選択科目の単位として計上することはできず、修了に必要な単位に含めることもできない。)

なお、人間発達心理コース(臨床心理領域)においては、独自カリキュラムになる。(開設科目一覧表の修了要件欄および備考参照)

臨床心理士または公認心理師の受験資格取得を希望する者は、上記の履修基準表に定める必要単位だけでなく、後述する臨床心理士及び公認心理師の受験資格取得に必要な単位を満たすことができるように履修しなければならない。

教職実践研究科

1 履修基準表

(教職実践研究科規程第5条別表)

区分	単位
大学院基盤科目	2
共通5領域	20
選択領域	10
学校における実習領域	10
プロジェクト研究領域	4
計	46

地域デザイン科学研究科 地域政策科学専攻 履修基準表

①学際性重視型

科目区分	基準または科目名	分類	単位数
大学院基盤科目	イノベーション・リテラシー	必修	2
専攻基盤科目	地域政策科学入門	必修	2
専門科目			
イノベーション・コア	イノベーション・コア	必修	2
プロジェクト研究	プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	必修	6
自専攻科目	地域政策科学専攻の開講科目から2科目以上	選択必修	4
他専攻科目	他専攻の開講科目から2科目以上	選択必修	4
特別演習	特別演習Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
特別研究	特別研究Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
自由選択科目	その他全てから1科目以上	自由	2
合 計			30
学位論文	修士論文	必修	合格／ 不合格

②専門性重視型

科目区分	基準または科目名	分類	単位数
大学院基盤科目	イノベーション・リテラシー	必修	2
専門科目			
自専攻科目	地域政策科学専攻の開講科目から7科目以上	選択必修	14
特別演習	特別演習Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
特別研究	特別研究Ⅰ・Ⅱ（研究指導教員のクラス）	必修	4
自由選択科目	その他全てから3科目以上	自由	6
合 計			30
学位論文	修士論文	必修	合格／ 不合格

(1) 履修基準表

科目区分		セメスター	要修了単位数	
			学際性重視型	専門性重視型
大学院基盤科目 (イノベーションリテラシー)		1	2	2
専攻基盤科目 (経済経営入門演習)		1	2	
専門科目	イノベーション・コア	3	2	
	プロジェクト研究	1~3	6	
	自専攻科目	1~4	4	14
	他専攻科目	1~4	4	
	特別演習	1~2	4	4
	特別研究	3~4	4	4
自由選択科目*		1~4	2	6

* 専攻基盤科目、専門科目の選択科目から、学生が自らの学修に必要な科目を選択して履修する。

※ 履修が認められた他大学大学院（外国の大学院を含む）での授業科目、ならびに、入学前の既修得認定単位は、合計 15 単位まで「要修了単位」に含めることができます。ただし、学類の授業科目は、履修が認められた場合であっても要修了単位に含めることはできません。

※ 2年を超えて在籍する場合、特別演習で4単位、特別研究で4単位を超えた分は、履修は必要ですが要修了単位に含めることはできません。

○福島大学大学院共生システム理工学研究科規程（抜粋）

別表 1

履修基準（共生システム理工学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位
	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修4単位、選択10単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位
	特別演習	必修6単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表 2

履修基準（共生システム理工学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目A「共生システム特別講究」2単位、所属する領域の「専門科目」5科目10単位、「特別研究」6単位、計18単位修得	18単位
選択必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目B（「共生数理システム特別実践演習」「共生環境システム特別実践演習」のうち所属する領域の1科目必修）	2単位
最低修得単位数合計		20単位

別表 3

履修基準（環境放射能学専攻博士前期課程）

科目区分		専門性重視型	学際性重視型
大学院基盤科目		必修2単位	必修2単位
専攻基盤科目		—	必修2単位
専門科目	イノベーション・コア	—	必修2単位

	プロジェクト研究	—	必修6単位
	自専攻科目	必修10単位、選択4単位	必修4単位
	他専攻科目	—	選択4単位
	特別演習	必修4単位、選択2単位	必修4単位
	特別研究	必修8単位	必修4単位
自由選択科目		—	選択2単位
最低修得単位数合計		30単位	30単位

別表 4

履修基準（環境放射能学専攻博士後期課程）

区分	基準	単位数
必修	応用科目	8単位
	講究科目	6単位
選択必修	基礎科目	6単位
最低修得単位数合計		20単位

○福島大学大学院食農科学研究科規程（抜粋）

別表（第5条）

履修基準（食農科学専攻）

科目区分	必修・選択の区分と単位数		修了要件単位数
	必修	選択	
大学院基盤科目	2	0	2
専攻基盤科目	2	0	2
専門科目	16	10	26
共通専門科目	2	2～6	12
コース科目	0	4～8	
他コース科目	0	0～4	
特別演習	6	0	6
特別研究	8	0	8
最低修得単位数合計			30